

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	社会教育関係庶務事務	5-1
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	生涯学習部社会教育課	直通電話	72-3173
担当部長	飯尾徹	担当課長	清水雅季
		担当者	板谷英郁

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	「社会教育委員の会議」開催 「社会教育委員等研修会」随行 「社会教育主事等研修会」参加 管内社会教育事業協力 「社会教育主事ワーキング会議」の開催 その他社会教育に関する庶務事務		
(2)事業開始年度	不明	(3)事業終了年度	永続
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	
	施策項目(大)	(1)生涯学習の推進	
	施策項目(小)	団体・グループおよび指導者の育成	
	施策コード	50101	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	だれもが自由に学習機会を選択しながら、生涯にわたって学び続けられる環境を整え、自己実現を図りながら充実した人生を送ることができるようにする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	「社会教育委員」から石狩市の社会教育に関する意見や提言を得る。 「社会教育主事」は社会教育を推進するための必要な施策を具体化する。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	・「社会教育委員の会議」の開催 ・研修会等への参加支援 ・「社会教育主事ワーキング会議」の開催
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	・管内社会教育共同事業「食の体験ランド」への協力 ・20年度以降の管内社会教育共同事業の見直し ・「社会教育主事ワーキング会議」の開催
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	全国的に、社会教育分野の更なる充実が求められている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	「社会教育委員」から生涯学習推進事業への直接参画、助言を得ている。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	420	420	383	749
(2)その他の間接経費(千円)	0	0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	2,590	4,971	5,562	/
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	3,010	5,391	5,945	
事務に従事した正職員延べ人数	0.30	0.60	0.62	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
区分	H17	H18	H19	H20予算	区分	H17	H18	H19	H20予算	
市補助金等(A)										
計(B)	0	0	0	0	計	0	0	0	0	
(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
「社会教育委員の会議」開催数(回)	目標値	3	3	3	3
	実績値	3	3	3	
	達成率	100.0	100.0	100.0	
「社会教育委員・社会教育主事等の研修会」出席回数(回)	目標値	10	10	10	10
	実績値	10	10	10	
	達成率	100.0	100.0	100.0	
「社会教育主事ワーキング会議」開催数(回)	目標値			3	3
	実績値			3	
	達成率			100.0	

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
「社会教育委員の会議」からの意見・提言数(件)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	2	4	5	
	達成率	-	-	-	
「社会教育主事ワーキング会議」での検討事案数(件)	目標値			未設定	未設定
	実績値			4	
	達成率			-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1	イ 成果
その事業に市が関与する必要があるかどうか			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性			ウ 事業内容
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
コスト削減は可能か			
(3) 公平性			(1)~(4)の評価ポイント合計
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1	総合評価の参考にしてください。
さらなる受益者負担は可能か			7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E
			11

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		「社会教育委員」においては、市教委が事務局として開催する定例の「会議」が年3回と限定されるため、「社会教育委員」が自らが独自に議論する場を設け、議論を深める取り組みを進めるなどの協働事業が推進されている。「社会教育主事」は、自ら学んだ成果を活かすため、市教委の施策の具体化に協力した。	
A	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		専門的な検討は今後も必要不可欠のため、事業を継続していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		社会教育委員の会議については、条例に基づき設置しており、今後とも専門的な意見・提言をいただくうえで、事業の継続が必要である。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		専門的な検討は、教育行政を推進する上で必要不可欠であり、今後、会議の開催回数の検討も必要である。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		